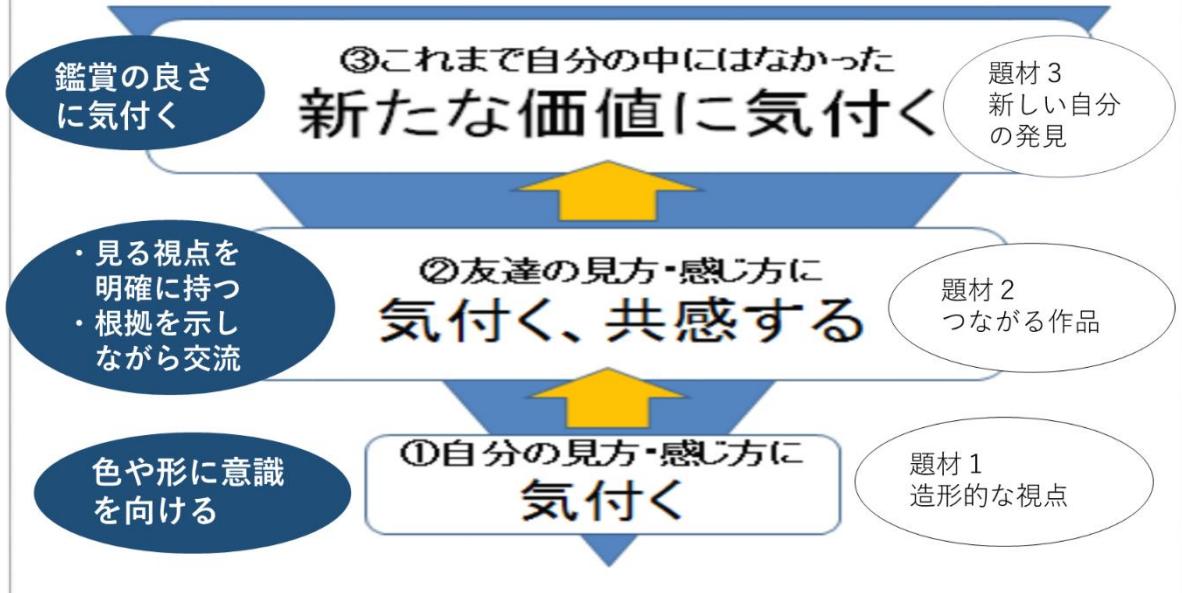


| 平成 31 年度 | 前期長期研修 | 校種・領域 | 小学校・図画工作 |
|----------|---|-------|----------|
| テーマ | 図画工作科における見方・感じ方を広げる児童の育成 | | |
| サブテーマ | 造形的な視点の学習とヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ（VTS）の活用を通して（第3学年） | | |
| 概要 | <p>□課題 鑑賞の授業に対し受動的で、造形的な視点からの表現や交流があまり見られず、見方や感じ方を広げることが少なかった。</p> <p>□手立て 表現と鑑賞の運動、造形的な視点の学習とヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ（VTS）の活用</p> <p>□目指す児童像 見方・感じ方を広げられる児童の育成</p> | | |
| キーワード | 図画工作、造形的な視点、色と形、見方・感じ方、ヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ、VTS、VTS活用効果、表現と鑑賞の運動、グループ制作、ファシリテーター、ファシリテーション、新たな価値、鑑賞、シャガール、私と村、つながる作品、カンディンスキー、いいねカード | | |

イメージ図

児童が見方・感じ方を広げる姿



成 果

- (1) 表現及び鑑賞活動を運動させたことで、児童が自分の作品の色や形に興味を持ち、造形的な視点を身につくことができた。
- (2) 鑑賞活動にVTSを活用し、根拠をもとに思いや感じたことを伝えたことで、友達の意見や自分自身の生活経験、感じ方から鑑賞の視点が広がり、児童自身の見方・感じ方を広げることができた。
- (3) 自分や友達の見方・感じ方に気付き、共感していったことで、造形的な視点をもとに新たな価値に気付く事ができ、児童の見方・感じ方を広げることができた。

